

会 議 名	令和 7 年度第 3 回小金井市立はけの森美術館運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課（はけの森美術館）		
開 催 日 時	令和 7 年 1 1 月 1 4 日（金） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 0 0 分		
開 催 場 所	市立はけの森美術館 多目的講義室		
出 席 委 員	鉄矢悦朗会長 山村仁志委員 原田隆司委員 畑島一代委員 平田勇治委員 中川法子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	コミュニティ文化課文化推進係 津端 佐原 同 はけの森美術館学芸員 中村、津村 同 はけの森美術館学芸アシスタント 永井 同 はけの森美術館学芸顧問 河合		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由	—	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	(1) 展覧会「中村研一とモダニズム（第二期）」の観覧 (2) 事業実施報告 (3) 今後の予定について (4) その他		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	資料 1 開催中の展覧会・教育普及事業等 資料 2 日程表		

【鉄矢会長】 皆様、こんにちは。本日は御多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまより令和7年度第3回小金井市はけの森美術館運営協議会を開催いたします。

最初に、資料の確認を事務局よりお願いします。

【事務局】 事務局です。

資料が、1と2と3です。あと、議事録が前回の第2回と第1回の分でございます。そのほか、次第が1枚で、以上になります。

【鉄矢会長】 ありがとうございます。不足ございませんでしょうか。もしありましたら、途中の段階でも構いません。お声を上げてください。

次第の1、展覧会、「中村研一とモダニズム 第二期」の観覧については、皆さん、観覧いただいたということでよろしいでしょうか。

では、次第2、事業実施報告等について、事務局から説明をお願いいたします。

【中村学芸員】 では、こちらに関しましては、学芸員の中村より報告をさせていただきます。資料1に沿って報告させていただきます。

開催した特別展「中村研一生誕130周年記念特別展 中村研一とモダニズム 一期モダニズム、出会いと展開」に関しましては、こちらは第2回で既に観覧とそれから概要等の報告はさせていただいておりますので、第2回以降のところについて、まず報告させていただきます。

こちらの会期、9月28日に終了いたしまして、入館者に関しましては、資料の1に示しましたとおり、計で767人という結果になりました。こちら、1,000人を割り込んでおりまして、やはり夏の展示としましては、例年比で考えると、ちょっと厳しいところがあったかなという印象でございます。

これに関しましては、やはり夏の猛暑というところが一因としてはあろうかと思えますけれども、1,000人を超えなかったということでこちらの結果となっております。

関連企画に関しましては、資料1に書きましたとおり、第2回の運営協議会実施以降に開催されたもののみ、こちらの展覧会に合わせて実施したものを報告しております。

まず、9月27日にワークショップ、洋画家竹内功氏に習う「水彩絵具『にじみ』『ぼかし』の世界」という、こちら午前の回と午後の回でのワークショップが行われまして、参加者に関しましては、1が12名、2が14名となっております。

ギャラリートークは、2回目のギャラリートークは9月13日に行われまして、こちら

は参加者の方が7名いらっしゃいました。

続けて、開催中の特別展につきまして、続けて報告させていただきます。

こちら、「中村研一生誕130周年記念特別展 中村研一とモダニズム」の二期としまして、「モダニズム、変容」というタイトルで10月31日から行っております。

既に内容については、委員の皆様にご覧いただいたかと思しますので、概要として、とどめさせていただきますけれども、「モダニズム、変容」ということをテーマにしまして、主に1930年代後半以降の作品を中心の構成としております。

借用作品は、「雪景」と「マラヤの装い」という2点となっております、「マラヤの装い」に関しましては、展覧会に入館いただいた方に、こちらのA3サイズのリーフレットを皆様に1部差し上げるという形で、簡単な内容案内といえますか、作品解説をつけております。委員の皆様の机にも1部置いてございますので、よろしければ御覧いただければと思います。

入館者ですけれども、本日までというところで464人となっております。うち、こちら、団体小中が250人という形で、非常に半分以上の数がこの団体という表記になってございますけれども、こちらに関しましては、鑑賞教室が行われておりまして、今日の昼間も鑑賞教室1校行われましたけれども、団体一般及び団体小中という、こちらの部分の人数は、鑑賞教室での来館となっている人数です。

これから先、その関連企画としましては、ギャラリートークが11月の22日と12月の20日に2回予定されております。それから、11月8日にこの展覧会の関連企画としまして、絵画ワークショップ「大自然をどう捉えるか、どう表現するか」というワークショップが行われました。

こちらのワークショップにつきましては、資料の3のほうに、ワークショップの開催に伴ってアンケートを取りました。そのアンケート結果がついておりますので、こちらの資料の3のアンケート結果につきましては、このワークショップの実施を担当いたしました永井より報告させていただきます。

【事務局】 学芸アシスタントの永井から報告させていただきます。

先週の11月8日土曜日、日本画家の内山徹さんをお呼びして、こちら多目的室で行われた「大自然をどう捉えるか、どう表現するか」という絵画ワークショップと題しまして、ワークショップを行いました。

参加費は無料、対象はどなたでも、ですが、子ども向けではないので御了承くださいと

の告知もしておりました。

定員は、15名と設定しておりまして、小金井市役所ホームページL o G o フォームより、事前申込み制、先着順で応募をしておりました。

イベント告知方法ですが、最初は、市報掲載と展覧会のチラシ、当館ホームページのみに限っていたのですが、こちらだけの場合ですと、イベント5日前になっても定員に及んでいなかったんですね。数名くらいの人に応募しかなくて、コミュニティ文化課から、「LINEやツイッターでも告知をしてみたらどうか」と御提案をいただいて実施していただいたところ、何と「LINEで知った」という回答が12名中8名もいらっしやって、すごい効果だと思ったので、ここで共有させていただけたらと思って。

【鉄矢会長】 小金井市のLINEですか。

【事務局】 小金井市公式LINEです。こちらのほうでやったら、物すごくスピーディーに、3日か4日くらいですぐに定員に達しまして、この効果を実感しておりますので、ぜひ今後ともこの宣伝効果を利用していただけたらと考えております。

それで、当日の参加者15名応募があったんですけど、うち2名が当日病欠と1名が途中退室だったため、アンケートは12名の方にお答えいただきました。子どもの参加者はおりませんでした。比較的、年齢層が高いワークショップとなっておりまして、50代から70代くらいの方々と、男女も女性のほうが6割程度の割合で行われました。

それで、アンケートで「このワークショップを何で知りましたか」と伺ったところ、Xで知った、旧ツイッターですね。Xで知ったという人はいなかったのですが、当館ホームページが1名、市報が2名、LINEが8名、その他、お友達から聞いたが1名でございました。「いつ知りましたか」ということに関しましては、10月中、市報で知った方2名がこの2名でございます。LINE、ツイッターを利用し始めた11月3日以降とお答えになった方が10名いらっしゃいました。

それで、「当館ワークショップへの御参加は初めてでしょうか」は、何と今回12名全員が初めてという結果で、「また参加したいですか」も、こちらも手前みそなんですが、12名全員が「はい」とお答えいただける、うれしい結果となりました。

なので、今後も、LINE、ツイッターをちょっと使って告知をしていただけたらなあという目標ができましたので、私のほうからは以上でございます。

【原田委員】 関連して、よろしいですか。

【鉄矢会長】 はい。

【原田委員】 原田です。

市の公式LINEは私も登録しているんですが、登録していると、もう強制的に来るんですよね。それで、つい「ピンポン」というと見ちゃうでしょう。そうすると、興味はある人は「そうか」というので、やっぱり食いつきがいいですね。あのLINEは、日々すごい数更新しているんで、頑張っているなと思う。

【事務局】 ありがとうございます。

【中村学芸員】 ということで、では、報告のほうに戻らせていただきまして、引き続き、中村のほうから報告させていただきます。

関連企画、今回のモダニズム二期のほうですけれども、この後、さらに12月7日に、ねんどワークショップ、こちらは学芸アシスタントの永井が担当するという形で予定しております。

こちらは、予約というよりは当日先着順で15名という形で予定をしております、どなたでもということですが、子どもも含めて参加できるようなものということも予定しております。

教育普及事業のほうについて、引き続き報告させていただきます。

鑑賞教室に関しましては、先ほど申し上げましたとおり、11月6日に第四小学校と、それから、11月14日、本日ですけれども、市立東小学校、それぞれが鑑賞教室に来ております。

この後の鑑賞教室の予定に関しましては、今後の展覧会、教育普及事業等のほうに出ておりますけれども、鑑賞教室ですね。この後、本町小学校から、1、2、3、4、5校が予定しているという形で、今回の展覧会の会期中で訪れる予定です。

それから、職場体験のほうも先行して報告させていただきますと、11月の26日から28日で、市立の東中学校から2名の職場体験を予定しております。

あと、話として前後してしまうんですが、ギャラリートークがこの後11月の22に予定されているんですが、こちらの11月22日、同日にこちらはコミュニティ文化課のほうでの主催事業になるんですが、ウォーキングイベントで「はけの森散歩―秋色の野川とはけの道を歩く―」という、ウォーキングイベントが同日に予定されておまして、こちらは12時45分の集合で、13時に開始して、この周りのはけの道周辺を散策するというイベントという形で予定されているものですが、時間としては、実はギャラリートークが始まる時間ぐらいに、ちょうど、このはけの森美術館の

あたりに到着するというような形で組んでいただいているイベントでして、さらに、こちらのイベント案内の中で「このイベントが終わった後でギャラリートークに参加できます」という、そういった案内をいただいております、実は、昨年、これ、同じスケジュールで開催して、結構このイベントからギャラリートークに流れてきてくださる方がいらっしゃいましたので、そういった形で、今年も、引き続き、ここの事業ではないんですけども、密接に関連づけた形でギャラリートークとずっと合わせて行おうというような形で見ておりますものになります。

実施、開催中の教育普及事業、展覧会等と、あと一部、教育普及事業の今後の内容について報告させていただきました。

【鉄矢会長】 ありがとうございました。

何か御質問とかありましたら、すみません、鉄矢から。

このA3のは、「折れてないのを下さい」というのは対応できるようになっているのですか。

【事務局】 いえ、これは折った状態で実は全部作っているのです。

【鉄矢会長】 そうですね。折れてないのがあると、「すごいうれしい」と言っていますよ。次回、もし、こういうのを企画するときは、折れてないのを、折らないで印刷にすることと、「折らないのもあります」というのを喜ぶかなと思います。

【事務局】 はい。ありがとうございます。

【鉄矢会長】 それから、もう1つ、公式LINEでというのはすごくいいと思うんですけども、今回のタイミングのように、ちょっとずらすのいいのかなと思って、やっぱり情報弱者がいると思うんですよね。そちらの人がLINEで埋まってから申し込んでも、「先着順で入れませんでした」というのはちょっとかわいそうなので、あと5年なのか、7年なのか、10年なのか分からないですけど、その辺だったら全部一気にやってもいいんですけど、まだ情報弱者の方がいらっしゃると思うと、ほんのちょっとだけタイムラグがあつていい気がしました。

では、次の3点目、今後の予定について、さっき途中まで入りましたが、残りの部分ありましたら、お願いします。事務局から。

【津村学芸員】 次、私、学芸員津村から御紹介いたします。

現段階ですけれども、収蔵作品展、タイトル、仮で「春のアトリエ」ということで、開館時間が午前10時から午後4時30分、入館は4時まで、休館が月曜、火曜、水曜日。

ただし、5月4日、5日は開館日。観覧料が一般200円、小・中学生が100円、未就学児及び障害者手帳をお持ちの方と連れの方は、無料。主催が、小金井市立はけの森美術館ということになります。

ギャラリーコンサートは、2026年3月20日、前日、土曜日に行う予定になっております。

それと、中村研一の誕生日5月14日を記念した無料開館日を設ける予定で、2026年5月の10日あるいは17日の日曜日、誕生日の14日に近い日曜日を考えております。

以上でございます。

【鉄矢会長】 ありがとうございました。

教育普及部門、その他のウォーキングイベントは、先ほど中村さんから説明ありましたので、これら予定に関して、何か御質問等ありましたら、よろしくお願いします。

鉄矢から意見です。今の画家の人だって、そんなにゆったりした時間を持ってなさそうな気がしていて、私の周りだけなのか。だから、この展示で中村研一のゆったりした感じが、何かうまく伝えられると、今の人たちの生き方にちょっと「あ、いいな」という感じになるかなと思いました。

【津村学芸員】 参考にさせていただきます。

【鉄矢会長】 その他、何か御意見等ありましたら。

では、最後に、4番目、その他についてです。皆様、または事務局、何かありましたら、お願いいたします。

次回、運営協議会の日程も決めなきゃいけないですね。

2月20日、18時半からということで、よろしくお願いします。

【事務局】 よろしく願いいたします。

【鉄矢会長】 他にございますでしょうか。

スムーズな議事進行に御協力ありがとうございました。

以上をもちまして、はけの森美術館運営協議会を終了したいと思います。ありがとうございます。

—— 了 ——